



人らしき人

川西中学校
令和2年度
学校だより
3月2日号

文責：校長 船木智幸

進路激励会を行いました

1月21日（木）の帰りの会に進路激励会を行いました。3年生の各教室に生徒会の新執行部が出向き、激励の言葉を伝え、合格だるまと合格祈願鉛筆、1、2年生からの激励のメッセージを渡しました。

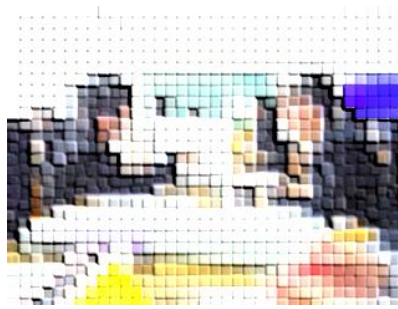
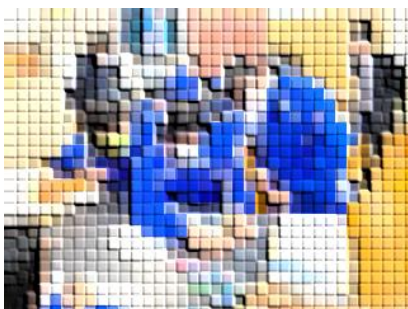


全校英単語テストを行いました

1月19日（火）に、各学年に合わせた出題内容で行われた全校英単語テストで、すべてのクラスが合格ラインの80点を大きくクリアしました。中でも2年3組はクラス平均点と100点満点者数で全校トップに立ち、2冠を達成しました。1学年の平均点トップは1年3組が、3学年の平均点トップは3年2組が、それぞれ平均95点以上の高得点を獲得しました。2学年主任の佐藤敏先生も生徒と一緒に受験し、テストに取り組む姿勢を示しました。

授業研究会を行いました

1月26日（火）に授業研究会を行いました。1年生の理科の授業を岡村昂太先生が、2年生の数学の授業を市川隼人先生が、1年生の道徳の授業を小野裕美先生がそれぞれ行いました。川西町教育委員会の島貫祐樹指導主事と島貫裕一指導主事にご指導いただきました。



【成果】（そう思う）

生徒の結果からは「自分も友達も大切にしている」「部活動に真剣に取り組んでいる」「先生方はいのちの大切さや社会的なルールについて熱心に教えてくれる」という項目で「そう思う」と回答した割合が高い結果でした。

学校で共に生活する仲間を大切にしていると感じている生徒が多く、また、部活動への取り組みへの充実感や教職員から社会の中で生きる人間として必要な約束事について指導されていると感じている生徒が多いことがわかります。

保護者の結果からは「お子さんは部活動に意欲的に取り組んでいる」「学校では安全で栄養のバランスのとれた給食を提供している」「お子さんは楽しく充実した学校生活を送っている」の項目で「そう思う」という回答の割合が高かったです。

部活動への取り組みをはじめ、子どもは概ね楽しく充実した中学校生活を送っていると感じている保護者が多いことがわかります。また、学校給食に対する理解があり、栄養バランスのとれた食事を摂ることができていると感じている保護者が多いことがわかります。

【課題】（思わない+どちらかといえば思わない）

生徒の結果からは、「家族に学校での出来事をよく話している」「宿題や予習・復習など毎日家庭学習に取り組んでいる」「自分から大きな挨拶をしている」という項目が課題として見えてきました。

学校での出来事や様子を家庭ではあまり話したがらない生徒の様子がわかります。また、家庭学習への取り組みが足りなく、課題であると感じている生徒が多いようです。2・3年生には「挨拶が悪い」と感じている生徒が多く、普段の生活の質の低下を感じているものと思われます。

保護者の結果からは「お子さんは学習やものごとに対して深く考えている」「お子さんは中学校での出来事をよく話してくれる」「学校では生徒が学習や生活において先生に気軽に相談できる学校になっている」の項目が課題であると感じておられるようです。

家庭で学校での生活の様子が話題として上がっていない様子がみられます。また、学校の指導や関わりが生徒にとって気軽にできるものではなく、生徒が相談しやすい体制になっていないと感じている保護者が少なからずいることがわかります。

また、具体的な声として次のような記述をいただきました。（抜粋）

「コロナの影響で学校生活の様子を直接見るができなかったが、充実した生活を送っているようだ。」
「ホームページの更新や YouTube 配信もありがたかった。」
「コロナの影響もあったが、行事なども色々と工夫して実施してもらい、有り難く思います。」

一方、「学校からの連絡が遅い気がする。もっと早く知らせてほしい。」
「生徒を指導する際の言葉の選択をお願いしたい。子どもの意見をよく聞いた上で、事実関係を確認の上、指導してほしい。」
「給食の異物混入が数件あった。しっかりとした対策をお願いしたい。」という意見もいただきました。

学校では、生徒の学校生活がより充実したものとなるよう、すぐに対応できるものはすぐに改善し取り組んで参ります。今後も本校の教育活動にご理解とご協力を賜りますようお願いいたします。